



いきいき交流！体験！

第2回ふれあい・いきいきサロン全国研究交流会

第14回全国ボランティアフェスティバル 火の国くまもとの協賛事業として「第2回ふれあい・いきいきサロン全国研究交流会」が10月28日と29日の2日間やつしろハーモニーホールで開催され、2日間で延べ1,000人の参加がありました。

ルーテル学院大学の和田教授の基調講演をはじめ、群馬県太田市の蓮沼さんと岡山県岡山市の堀川さんによる実践レポートの報告やパネルディスカッションなど、いきいきサロンの活動の取り組みについて話し合われました。

交流広場では、熊本各地のいきいきサロンの体験コーナーが設けられ、参加者は体験をとおして交流を深めていました。(次回は、群馬県で開催されます。)

ODA (政府開発援助)の現状を視察

八代工業高等専門学校学園祭

11月6日、八代工業高等専門学校の学園祭で、海外でのODA活動を視察する『ODA民間モニター』として、同校講師の福井由美子さんがエジプトを訪れたときの報告会がありました。



この視察を通じて感じたことを福井さんは「衝撃的だったのは、豊かなイメージがあったエジプトにも、たくさんストリートチルドレンがいたことです。家族に守られてあたたかい家庭で安心して生活するべき子ども時代に、危険と恐怖にさらされた路上で眠ることを強いられているとは…」と話し「ODAは、魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教えてあげる活動なのです。ODAは発展途上国の人々に、水や電力、医療といった市民の生活に欠かせない最低限の安全を保障しているのです。そして、最も重要なことは、私たち日本の援助を現地の人は深く感謝してくれていることです。私たちの税金は、確実に途上国の人々の生きていく力になっており、明日への希望となっているのです。」とODAが果たしている役割を語りました。

▲青年海外協力隊員(理学療法士)の活動

Town Topics

～まちのわだい～



100歳おめでとうございます！

きよた つつき
清田 續さん



11月21日、清田續さん(大島町)が100歳の誕生日を迎えました。90歳までは、現役の漁師として海に出ていたとのこと。

現在は、自分で作った野菜などを食べるのが楽しみの一つとなっているそうです。

鰻とミカンで元気をつけて！

台風14号孤立世帯へ鰻とミカンを寄贈

11月18日、台風14号で被災した泉町の住民へ、熊本県養鰻漁協組合とJA熊本果実連から、鰻30kgとミカン250kgやジュースなどが贈呈されました。

贈呈には、村上寅美 熊本県養鰻漁協組合代表理事組



▲贈呈に訪れた村上組長(右)

合長が代表して市を訪れ、「泉町が1日でも早く再生できるよう願っています」と被災地区の区長を激励しました。

八代と天草を繋ぐ夢の架け橋を！

八代・天草架橋建設促進総決起大会

11月26日、千丁文化センターで八代・天草架橋建設促進総決起大会があり、天草・八代・芦北・球磨地域の27市町村の住民や関係者、国会議員など約500人が集まりました。



会では、中川良隆東洋大学教授が、カナダのコンフェデレーション橋などを例に挙げ、架橋実現の可能性について講演。その後、大会決議が読み上げられ、最後には、会場全員がひとつになり「ガンパロウ！」と拳を上げ、架橋の早期実現にむけて地元の期待と熱意を強く訴えました。